

創設 50 周年記念講演「動物応用科学科の創設・現在・未来」

第 1 講 【創設 政岡 俊夫 先生 名誉学長】

『家畜環境学科創設から動物応用科学科への改組』

1976 年の学科創設（家畜環境学科）当時の時代背景や世の中のニーズ、立ち上げにおけるご苦労、麻布ならではの「建学の精神」がどのように学科の基礎に反映されたかなど、伝統の原点について

第 2 講 【現在 永澤 美保 先生 動物応用科学科 学科長・教授】

『共生社会をリードする現在（いま） ～生命科学と動物科学の最前線～』

現在の動物応用科学科の強み（ヒトと動物の共生、多様な進路）、今まさに誇れる先進的な研究実績（生命科学から生態系まで）や、現代の学生たちの活躍・学科のリアルな姿について

第 3 講 【未来 伊藤 潤哉 先生 獣医学部長・教授】

『未来へ紡ぐ、次世代の動物応用科学科 ～次の 50 年に向けて～』

変化が激しく将来予測が困難な VUCA 時代に、動物応用科学科はどのような人材を育成し、社会に価値を生み出すべきか。50 年にわたり培ってきた教育・研究の理念と強みを継承し、学生・教職員・卒業生が世代を超えてつながりながら、社会で求められる役割と、次の 50 年に向けて学科が目指すべき方向性について。

創設 50 周年記念講演 卒業生報告

『麻布で学んだ動物行動学からアニマルウェルフェアの最前線へ

～システム行動生物学が拓く人と家畜の未来～』

麻布大学・大学院時代（田中智夫研究室等）での動物行動観察の思い出と早期修了に至った研究への熱量 現在取り組まれている、AI・IoT やゲノム科学を掛け合わせた「システム行動生物学」の最先端研究とアニマルウェルフェアの社会実装について次世代の動物応用科学科を背負う在学生・若手卒業生へのキャリア支援を込めたエール

講演者 新村 毅 先生

東京農工大学 農学部 畜産学研究室 教授 新村グループ（システム行動生物学研究グループ）

2005 年 4 月 - 2007 年 3 月 麻布大学，大学院獣医学研究科博士前期課程

2007 年 4 月 - 2009 年 3 月 麻布大学，大学院獣医学研究科博士後期課程（特例による早期修了）